

実録スクープ! **「極悪」盗撮ビデオはこうして作られる**

WEEKLY **0** [噂のヒガパン対談] ついに登場! アミ~ゴと鈴木亜美

フルボディ

¥330

8・31 No.35
ハダカに残暑お見舞い
特大号

[W表紙&巻頭グラビア]

磯山さやか
ムチムチ色気 ×
ほしのあき
フェロモンボディ

綾瀬はるか
「セカチュー」ヒロイン初告白

堀北真希
ソーダ水の美少女

萩原舞 × nao. × かわい果南
すずしいハダカ3連発!!!

温泉ナース「穂花」
「帰ってきた注射の恋人」袋とじ!

カラー8p
アテネ五輪
「見逃せない美人選手」
最新図鑑

老害被害、続々!
うちの会社の
「ナベツネ君」!
古田選手会長、必読!
これがナベツネに
なめられない
正しいストのやり方だっ!!

ジェンキンスさんの「寝返り」で加速!?
さらば金正日!
北朝鮮崩壊のXデー
有名企業OLたちが告白
本当にあった
「エロ怖い話」。
ヒヒヒヒツ...



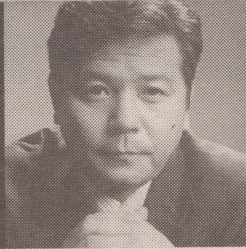
北京五輪は もっと

スポーツ

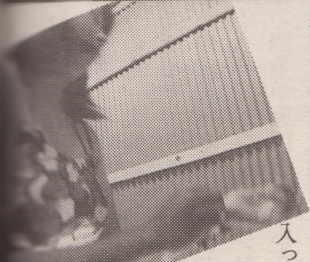
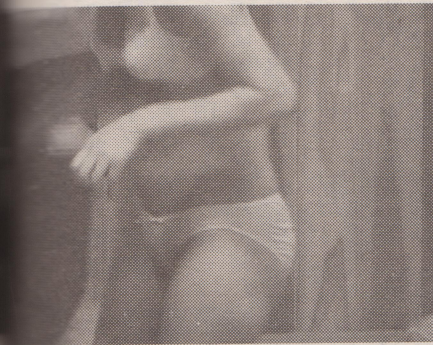
戦争だあ!

気持ちはもう4年後、因縁の新ライバル・中国と全面对決へ!
上等だぜ、反日サポーター!

大好評! 黒木昭雄の 『怒濤の追及事件簿』 シリーズ



くろき あきお ●元警視庁巡査部長。57年生れ。23年間の在職中に総監賞を23回受けるも、警察組織のあり方に疑問を抱き、99年に依願退職。「警察ジャーナリスト」として幅広いジャンルのテーマに取り組み活躍中。近著に『葬式の値段』にはウラがある(草思社)



世の中には、いろいろな『職業』があるものだ。今回入手した映像は、『極悪非道』のひと言につきるものだった…。撮影されていることにまったく気づかず、用を足したり風呂につかる女性たち…。そんな盗撮ビデオの実行犯からゆずり受けたテープの中身とは…。許されざる犯罪の実態を明らかにする!

『盗撮』実行犯が持つ 『驚愕のテープの中身』:

某県某市にある、とあるマンションの一室。モニターやビデオデッキ、編集機材などがところ狭しと並んでおり、素人目にも『プロのもの』とわかる本格的な編集室だ。その部屋で、男は業務用のビデオテープ数本を差し出しながら、こう切りだした:。
「ほとほと、この仕事が嫌になったんです。もう(懺悔の意味で)洗いざらいぶちまけよう」と決心したんです:。」
こう語るのは田中純一氏(仮名・33歳)。世間に『盗撮モノ』として出回っているAVの『すべてを知る男』と言っても過言ではない『プロ』である。

この田中氏が差し出したテープ

① プこそ、編集され、表モノとして流通する前段階の、修整(モザイク)がまったくかけられていない『マスターテープ』。その中身は、まさしく驚天動地の代物だった:。
まずは194ページの写真①

② ⑤を見てほしい。和式の公衆トイレにしゃがみ込んだ10代後半〜20代前半とおぼしき美女が、あられもない姿をさらし、用を足して個室から出てくる一部始終が撮影されている。市販されている『表モノ』には、生殖器部分に申しわけ程度のボカシがあるが、これは『わいせつ物頒布等』という罪の摘発を逃れるための処置である。

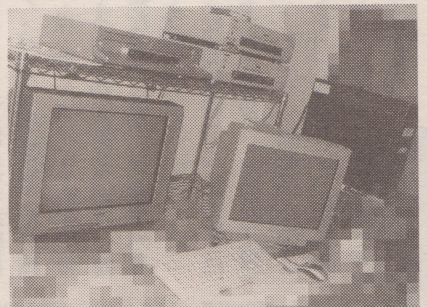
だが、今回、田中氏から入手したテープにはもちろんモザイクはかけられていない。まず画面に映し出されているのは、なんの変哲もない公衆トイレ。そこに若い女性が入っていく。すると、いきなりカットが切り替わり、なんと個室に入った女性の上半身を真正面から捉えている。当然、顔

も丸見え:。
女性は便器をまた

ぎ、はいていたピンク色のジャージと下着を下ろす。するとまたもカットが切り替わり、便器のななめ前に置いてある汚物入れに仕掛けられていると思われるカメラの映像に切り替わる。漆黒のヘアから、鮮やかなピンク色の、むき出しの女性器まで画面いっぱいアップで映しだされ、そこから尿が勢いよくほとぼしる:。
『出きった』ところでまた画面が切り替わり、今度は後ろのカメラが女性を捉える。その角度、高さ、映される範囲とも、女性の腰から足元にかけて、下半身全体のラインがわかるように絶妙に計算しつくされているとしか思えない:。さらに今度は、女性の後方の別のカメラが捉えた、しゃがみ込んだお尻のアップへと切り替わる。陰部から、ヒクヒクと動く肛門のシワの

は作られる!

一本までわかるほど鮮明だ。最後はご丁寧に、個室の外に仕掛けられたカメラが、用を足してスッキリした表情でトイレから出てくる女性の顔から上半身までを捉える:。
時間にして250分以上、数えてはいないが、恐らく50人は超えるであろう女性の『トイレ盗撮』が収められている。もちろん、それは彼が持つ



盗撮グループがビデオ編集室として使っている部屋には、様々な機材が並んでいた…

衝撃のスクープ!
懺悔

実行犯がすべてを暴露。
この夏、キミの彼女も狙われている!?



*上の画像およびパッケージの写真はあくまでイメージであり、
本文の記事とは直接関係ありません

実録

盗撮ビデオ こつして

ている映像のほんの氷山の一角にすぎないのだが…。

テレビ番組制作会社のディレクターで、撮影機材などにも詳しいI氏は、この映像を観て、こう解説する。

「かなり組織的な盗撮です。定点カメラは全部で5台。いずれにせよ、これだけのものを仕上げるとなるとかなりの時間と労力が必要になります。それの問題なのは撮影の場所です。技術があっても、カメラを仕掛けるとなると限界がありますからね…」

驚くべき
“盗撮の手口”が
明らかに!!

では“盗撮軍団”は、どんな場所にどうやってカメラを仕掛けるのでしょうか? 前出の田中氏は驚愕の手口の一

近年世間を騒がせた 盗撮事件

2000年9月

田代まさし盗撮事件

東京目黒区の私鉄駅構内での女性のスカートの中を盗撮したとしてタレント田代まさしが現行犯逮捕、書類送検される。記者会見で「ミニにタコができるというダジャレの資料映像を撮ろうとした」と言い訳しひんしゅくを買った。おまけに01年12月にはアパートの風呂場を覗き現行犯逮捕されている。

2000年10月

東大・本郷キャンパス 女子トイレ盗撮事件

文京区の東大・本郷キャンパスの女子トイレに盗撮目的のカメラが仕掛けられた事件で当時45歳の無職の男が逮捕される。女子トイレに侵入し天井にカメラを仕掛け近くに停めたバイクの荷台に電波受信機とビデオテープレコーダーを置いて盗撮していた。

2001年4月

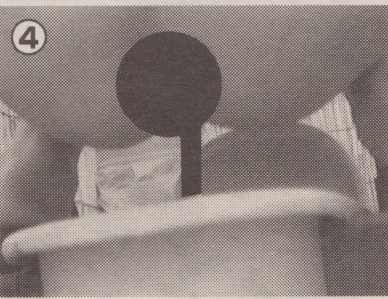
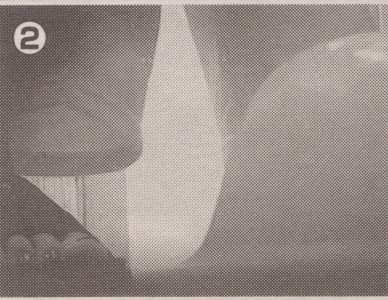
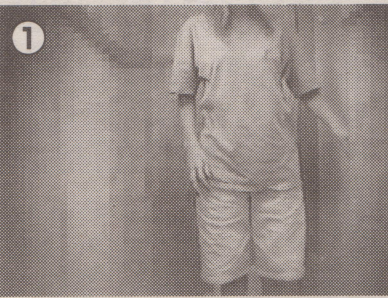
浴室の盗撮目的侵入で 警察学校校長補佐を逮捕

浴室を盗撮しようと警察官宅に侵入したとして、高知県警は警察学校校長補佐の警部（当時53歳）を逮捕した。

2004年1月

センバツ元準優勝投手、 盗撮で逮捕

栃木県宇都宮市内のデパートで、買い物客の女性のスカートの中を盗撮したとして無職の男（当時45歳）が現行犯逮捕される。この男は76年の選抜高校野球大会に出場した小山高校のエースで主将を務め、チームを準優勝に導いた。



「トイレ盗撮」のマスターテープには、ひとりの女性を5台のカメラで捉えた鮮やかな映像が収められている。まず入ってきた女性を正面から(①)、そして女性がしゃがむと、斜め前から陰部のアップを(②)、次に後方から女性の下半身全体(③)、さらに後方の別の角度から肛門周辺のアップ(④)、最後に、女性が個室から出てきたところを(⑤)押さえている。当然ながら、モザイク処理はされていない。「正直、興奮したのも最初の5~10分。ホント嫌になって途中から映された人数数えるどころか、全部観るのすらやめちゃいました。これを延々編集する人たちの労働意欲って、どこからわいてくるんでしょう?」(本誌取材記者談)

端を明らかにする!

「5台のカメラを一般の公衆便所の、うまい位置に仕掛けるのは不可能。そこで、海岸の駐車場に公衆便所を新築してしまふんですよ」

某県にある海岸沿いに、広大な土地を駐車場として丸ごと借りあげ、そこに、公衆便所に見せかけた盗撮用「トイレスタジオ」を作ってしまったというではないか!

そしてその総工費は、なんと約800万円! しかし、田中氏はこう語る…。

「安い投資ですよ。夏の間だけでン千万以上の利益を生むんですから…。このマスター一本から60タイトルぐらいの作品が作れるんですよ。例えば、『ウンコ編』とか『タンポン編』とかね。ものすごくかわいい娘が、トイレに入るなりいきなり尻をこいたりハナクソほじったりするから、それはそれで面白い商品になるんです。つまり、一本のマスターから何十本もの作品が生み出され、それぞれがカネを生むという仕組みです」

警察の「盲点」を突く 実行犯のズル賢さ:

次に、左ページの写真⑥、⑩を見てほしい。これらは、ご存知「温泉・脱衣所盗撮モノ」と呼ばれるもので、最近でも、某女性タレントによく似た女性が温泉につかっている様子の映像が回り、話題になったことも記憶に新しい。

これも同じように、一本のマスターから「おねえ編」や「ギャル編」「人妻編」といった具合に小分けに作品を作るそうで、特に『女子高生モノ』の人氣が高いという。

この風呂場覗きモノは「盗撮のルーツ」といわれ、最初に出回ったのは15年ほど前

のことだという。某県にあるAVメーカーが、風呂場のノゾキをイメージしたヤラセ作品を作ったのが最初で、その人氣ぶりを見た別のメーカーが裏モノに紛れ込ませて「ヤラセなしの実写モノ」を売り出し、爆発的にヒットした。

別のビデオ製作関係者のY氏が当時を振り返る。「当初は隠しカメラの据えつけが主流だったんですが、これではいいカットが撮れないだけでなく、電池やテープの交換のたびに見つかるという危険がありました。それで、怪しまれないように女を使って盗撮させることを思いついたんです。撮り手ですか? そんなの、いくらでもいます。正直言って「悪い女」がいなけりゃ商売成り立ちません。「悪い女」とはいえ、信

用できる「身内」の人間のほうが頼みやすい。ですから、なかには、AVメーカーがかかっているC級の企画物のAV女優が、目先の金につられて「共犯」役を引き受ける、なんてこともあるそうです」

表面き、盗撮ビデオは投稿作品として発売元に持ち込まれるということになっている場合が多いが、現実には、Y氏のような下請けの人間が直接「共犯者」の女性を募集し、発売元の要求に応じたシーンを撮影させているという。

「撮りテープ」といわれる120分テープの買い取り価格は1本当たり2万~3万円。内容がともなわなければ「値引き」されるため「共犯者」の女も必死である。

なに食わぬ顔で女風呂に入ると、脱衣所で「標的」を物色

「温泉・脱衣所モノ」に収められている画像。犯人はどうやら、手に持っているカゴに隠しカメラを仕掛けていたようだ。そして脱衣所をうろついたり「標的」を探し、「獲物」を捉えようと、服を脱ぎ始める姿から、絶妙にカメラの角度を変えながら撮影し(⑥~⑦)、浴場の中まで追い回し(⑧)、つかず離れずの距離を保ちつつ、風呂から出てきても尾行を続け(⑨)、最後にはこれまた「絶妙」なカメラワークで、しっかり女性の顔までレンズに収めてしまう(⑩)。まさに「芸術モノ」の撮影技術である。自由に女風呂の中を動き回る犯人は女性に間違いはない。

し、脱衣シーンを撮る。盗撮用のカメラはシャンブーなどの容器にセットしてカゴの中に忍ばせてある。レンズは直径2〜3センチだから、気づかれることはまずないという。

だが、隠しカメラでは撮影しながらモニターでチェックする術もない。犯罪を堂々とこなす度胸もさることながら、撮影のテクニクも要求されるわけだ…。

「撮影者によって、腕の善し悪しもちろんありますよ。すごく腕が立つ、執拗に娘の股ぐらにレンズを向けて撮りにいく女がいるんですが、はつきり言ってアレは芸術モノです」(前出・Y氏)

「だが、失敗したりといううなことはないのだろうか?」
「怖いのは壁の鏡に自分の顔を映してしまうことです。サツに捕まった時、決定的な証拠になりませんか」(Y氏)

問題は、こうしたあからさまな不法行為に警察がいっさい手を出せないでいるということだ。まず第一に、盗撮行為を直接的に取り締まる法律がないことだ。もちろん、覗きの現行犯ならその場で逮捕もできるが、このような「ブロ集団」の手口は複雑巧妙で、よほどのことがない限り現行犯逮捕は不可能だ。

ただ、写された女性から被害届が出された場合は本格的な捜査に乗り出せる。

「例の海岸の公衆便所の盗撮ビデオですが、途中でどこどころに海岸の風景が出てるでしょ? あれは撮影場所を特定できないようにわざと別の海岸で撮影したシーンを入

れてあるんです。数年前に関東のある警察が盗撮ビデオに写っている便所を特定して被害者を割り出そうとしたことがあり、その対策です」

では、発売元から取り締まる方法はないのか。田中氏は、「それも無理ですよ」と断言する。なぜか?

「一流メーカー」といわれる業者は必ず「下請け業者」を複数抱え込んでいる。メーカーから制作費を受け取った下請けは盗撮者から買い上げた「撮りテープ」にモザイクをかけて完成品にしてメーカーに渡す。そしてメーカーは自社ブランドとして出荷するというシステム。

万一、メーカーに警察の捜査が入っても、「このテープを作った人間が

「ヤラセの作りモンだ」というので買っただけです」と逃げ切るといふのだ。こうして売上げたその利益は、某「一流メーカー」で年商15億円にもなるそうだし!

これでは日本の女性の日常は盗撮の危険と背中合わせということになる。これ以上の被害を防ぐ方法はないのだろうか? 田中氏は、「盗撮する側だって体張ってますからね。それに高額の収入になるから、その手の輩は後を絶たないんですよ」と語るのみ…。

「警察は『被害者がいなければ事件にならない』と冷たく言うが、数多くあるビデオには被害女性の素顔が今もさらされ続けている…。」

「写真をバラまかれたくないれば俺の言うことを聞け!」と、脅迫に使う可能性もある。いや、もしかしたら、表ざたになっていないだけで、現実にそういう事件がもうすでに起きていくかもしれないのだ…。

ともかく、こんなビデオが出回っている現実には絶対に許せるものではない!

この夏の間、キミの彼女も気づかぬうちに盗撮の被害者になっているかもしれないのだ!

*この記事に関して、本文の内容以上に及ぶご質問およびお問い合わせには、編集部ではお答えできませんので、なにとぞご了承ください

